

ふじのみや 体協だより

第10号

発行 富士宮市体育協会
〒418-0007 富士宮市外神東町115
市民体育館内
☎0544-58-7799
発行人：松浦 眞 印刷：フジ印刷南



市制施行65周年記念 第28回富士宮市民スポーツ祭総合開会式



市民スポーツ祭総合開会式は、五月十二日(土)市民体育館に於いて、来賓・選手・役員・行政区役員・一般観客約一〇〇〇名の参加のもとに行われた。

開会式に先だって、富士宮吹奏楽団の演奏に合せ体協加盟二十八団体が各会旗を先頭に入場行進を行いました。本年度より体協に加盟したグラウンド・ゴルフ協会、インディアカ協会も力強く行進に参加しました。

総合開会式では、前年度優秀区の淀師区、高原一区、野中二区、宮原一区が表彰されました。選手宣誓は、本年一月に京都で行われた全国道府県対抗女子駅伝大会中学生区間で見事区間賞の栄冠を得た第四中学校の佐野知美選手が力強く宣誓しました。

淀師区
高原一区
野中二区
宮原一区

第57回富士宮駅伝大会

第57回富士宮駅伝大会は、晴天・微風の絶好の駅伝日和に恵まれた二月十一日午前十時、一般一、二、高校十三、中学二十、女子十六、合わせて一六〇チームの参加により健脚を競った。

レースは一区より六連覇を狙う滝ヶ原自衛隊が先行、次いで東京農大C、関東学院大Aが追う展開となり、二区では関東学院大A、三区では東京農大Bが先頭を奪うなど、目まぐるしく先頭が入れ替わるという大混戦模様。三区に入り再び滝ヶ原自衛隊が先頭を奪い返し、最終六区にて東京農大Bが先行する滝ヶ原自衛隊を逆転し、見事一時間四十二分五十七秒で六年ぶり二度目の総合優勝に輝いた。

第二区は東京農大Aがやはり最終六区で逆転し、い込んだ。六連覇を狙った滝ヶ原自衛隊は一、四、五区で見事区間記録を奪う快走で実力を発揮したものの、三、六区の不振で六連覇の夢をたたえました。地元富士宮は北高が部門二位に入賞したが低速、今後尚一層の奮起を期待したい。中学の部



では上位三チームは富士市チームが独占、地元中学生も高校生同様高層の奮起を期待したい。個人記録では一区、三中、上倉利也、三区、根南中・遠藤直基六区、四中、諏訪部穂選手が見事区間賞に輝いた。女子の部は昨年に続き東農大が五年連続五度目の栄冠に輝きました。

最後に本大会を運営された市当局始め諸団体、役員並びに応援の各団体の皆様ご苦労様でした。また協賛された各企業、商店個人の皆様に厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひ致します。

各連盟協会からの報告

陸上競技協会

陸上競技協会は陸上競技の普及と専門的な技術指導を行う事により、競技力向上と選手の育成強化に積極的に取り組んでおります。

市町村駅伝大会は、市の部で十六年度・十三位(二時間二十三分三十秒) 敢闘賞受賞、十七年度・十一位(二時間二十二分三十七秒)、十八年度・十二位(二時間二十六分三秒)と入賞にあと一歩の成績を三年連続しました。本年度は十位入賞を目指し練習に励んでおります。

今年も市民陸上カーニバル、市民駅伝大会により多くの市民の皆さんに競技に参加していただき、陸上競技を楽しんでいただきたいと思います。

また協賛された各企業、商店個人の皆様に厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひ致します。



昨年度大活躍した大場機工野球部

野球連盟

昨年は創立六十周年の記念式典を開催各位多数が出席して、連盟先方の労に感謝するとともに、祝賀会を開催することができました。

つも苦慮しております。又、地元でもっと大きな大会(高校野球の公式戦や有料試合)ができるような野球場があったらいいなと思っております。今の当市のさびしい状況では夢でしょうか。

五十周年を記念して始めたOB大会に加えて、六十周年からはナイター大会も始めました。そして今年も、学童チームが誕生三十周年の記念行事もあり、A十三、B十九、C四十四の計七十六チーム、その他にOB九、早朝十六、中学十二、学童十二の小学生からお年寄りまでがそれぞれの立場で野球を楽しんでいます。

各大会は週末や休日に限られていて、雨天になると大変日程消化とグラウンド確保には大変です。本年も各チームの活躍を期待いたします。

ソフトテニス協会

二月二十四日、十九年度総会を開催し、十八年度事業及び会計報告の承認に続き、新役員選出、さらに二十五日及び十九年度諸事業が承認され、新にスタートしました。

今年度より、副理事長として岩田和也・板垣朋美、事務局長に助野大輔、副事務局長に青島啓一・堀内祐希氏らが新たに当協会の役員となり、運営面の中心として活動していただくことになりました。又、協会組織も各部(普及部・強化部・事業部・審判部・少年団・ジュニア強化)の責任者・スタッフの充実が図られ、今までの組織強化が実現しました。こうした目的は、

来年度の秋(十一月初旬頃)に富士宮市にアジアシニア大会(中国・韓国など五ヶ国参加予定)が開催される予定に向けてのことである。

十八年度は、シニア部門とジュニア部門において当協会所属の選手が活躍した。シニア部門では、山本敏子選手が全日本一位、遠藤広美選手が全日本二位、福石富男・阿部孝一選手が三位に輝いた。又、ジュニア部門では、中学女子で富士宮一中の土屋珠美・相川珠里組が全国五位、富士宮四中の砂原由緒・嶋昌子組が東海一位、中学男子で富士宮四中が団体で東海二位となり全国大会で活躍した。高校男子

では、富士宮北高の宮島勇樹・荻海人組がハイスクールジャパンカップで見事三位に輝いた。久しぶりの快挙であった。その他小学生でも男女各一組が全国ベスト十六に入賞している。シニア・高校・中学・小学生の部門で当協会所属選手の活躍が多く見られたが、一般男女の活躍がもう一歩のところであったのが残念である。選手の強化育成を強化部中心に図っている最中であり、その成果がやがて実ってくるものと期待しております。

最後に、石川好廣元会長が体育協会より栄えある賞をいただき感謝申し上げます。当協会と成を目標してまいりますので、関係者のご支援・ご協力を下さいますようお願い申し上げます。

剣道連盟

富士宮剣道連盟は平成十九年度のスタートに伴い、会長の重責を長年担われた井上眞三郎先生から新会長の加藤恵基先生にバトンタッチされ、副会長には佐野征宏、矢邊立夫、清武潤、新理事長には海野隆、新事務局長には遠藤佳人の各先生が選出された。これからは役員一同、更なる飛躍を目指して頑張っていきます。

本連盟は富士宮市と芝川町の会員で構成されており、地域の少年剣道の指導にも当たっており、少年剣道大会や中体連剣道大会にも審判員として参加し、地域団体との交流も深めています。

本年度の主な事業計画は剣道指導者講習会(四月)、剣道初心者講習会(五月)、夏期錬成会(七月)、富士宮市民剣道大会(九月)、中学新人剣道大会(十一月)があり、剣道の発展と普及を目的に活動をしてまいります。

また、会員は各種大会に参加して自己の錬磨にも精進しており、特に本連盟には団体出場等の経験豊富な女性剣士の河野由香利選手がおり、四月に行われた年次別選手権大会(女性の部)でも見事連続優勝し、本年度の全国家庭婦人剣道大会の県代表にも選ばれており、今後の更なる活躍を期待しています。



上. 剣道指導者講習会
下. 優勝した河野選手



十宮市民体育館武道場で、火、木、土曜日の週三回、夜八時から行っております。

柔道会

当会は有志の方々による指導のもと、市立体育館武道場に、小学生から中学・高校生、一般の者が集い、毎週水・金・日曜日に稽古を行っています。

年間行事としては市民スポーツ祭柔道大会、健闘式、夏期合宿、競技大会への参加を行っています。

競技大会では第三回小学生学年別柔道大会東部地区予選(四月九日)で秋元健吾が男子十六年の部四十五級にて一位となり、県大会(四月十八日)では三位に入賞しました。

第四十八回東部地区柔道祭(四月十六日)は、一般の部にて優勝(監督 小林賢治、選手 阿部

バスケットボール協会

以下級で三位、石川純也が男子二年生の部二十七級超級で一位となり、団体二部はベスト8で敢闘賞(監督 高岡豊、選手 望月謙・小林稜・秋元力也)を受けました。形の演技では講道館柔道技の形を取、中島塔奈(五年生)、受・松下尊雅(五年生)が行いました。

今年度の昇段審査では五段に高岡健、参段一名、初段に一般一名、高校生一名、中学生一名が昇段をしました。

バスケットボール協会

第二十七回市民スポーツ祭バスケットボール大会は、三部門で行われ、ミニバスの部、男子優勝は富士根南、準優勝は黒田、第二位は富士見と貴船Aでした。女子の部優勝は西富士、準優勝黒田、第三位は富士根南と富丘でした。中学校大会男子は優勝富士根南中、準優勝大富士中、第三位は富士宮一中と富士宮三中、女子の部は優勝富士宮四中、準優勝富士宮一中、第三位は西富士中と富士根南中でした。一般の部大会は大会は男子二十五チーム、女子五チームが参加し、二日間にわたり熱戦が展開され、男子は、優勝MCS、準優勝ハマーズ、第三位はルーツとAKAでした。女子は、優勝FGM、準優勝ウエスト、第三位はスポーツでした。男女の優勝チームは、県民スポーツ祭東部地区大会に出場し活躍しました。

本年三月に行われた第七回会長杯大会は、男子二十五チーム、女子八チームが参加し、男子一

本年度市民スポーツ祭中学校大会は、六月九日と十六日に行われ、男子優勝は、富士根南中、準優勝大富士中、第三位は、富士宮四中と北山中でした。女子優勝は、西富士中、準優勝富士宮四中、第三位は、富士根南中と富士宮一中でした。

市民スポーツ祭ミニバス大会は、九月八日(日)市民体育館、一般大会は、九月十六日(日)と二十三日(日)の両日、市民体育館で行われます。この他中学校新人戦大会、会長杯大会、一般の会長杯大会も行います。

本年度は、一月十二日と十三

日の両日に、県下中学校バスケットボール大会が当市民体育館で行われます。県下東中西部大会を勝ち抜いた強豪チームが集まり熱戦が期待されます。

又、高校の県大会男女の準決勝戦が二月二日(土)に市民体育館で行われます。高校生のレベルの高い試合は大変楽しみで熱戦が期待できます。

バレーボール連盟

当連盟は、昭和二十五年に発足し半世紀の歴史があり、各種大会に多くのチームが参加し、良い成績を上げております。まず、小学生の大会では、第二十二回連盟会長杯小学生バレーボール大会では、男子の部に春季東部地区大会で活躍した富士見A、六年生女子の部では一セットも落とさなかった大宮、女子五年生以下の部では、大宮がそれぞれ優勝をしました。八月には、東部小学生バレーボール五年生親善大会で、富士見・富丘が優勝、貴船・富士根南が二位と入賞し、富士宮地区の強さをみせつけました。第三十三回目的県小学生バレーボール選抜優勝大会東部地区予選に四チームが参加し、富士見・貴船・富士根南の三チームが県大会への出場権を得て、その結果東部四位の成績で出場した富士根南が見事三位となり、東海大会への出場権を獲得いたしました。次に、中学生の大会は、第十九回福山カブ中学校女子バレーボール大会は、市民体育館等七会場で開催し、決勝トーナメントに富士宮一中、富士宮二中、富士根南中が進出しましたが、一

回戦で敗退してしまいました。女子バレーボールのアップにつながっていくのではと思っております。中体連富士宮地区大会では、女子は富士宮二中が九連覇、男子は富士根南中が五年ぶりに優勝、富士地区中学生大会では、女子は、富士宮二中、男子は富士宮一中が優勝、塩川杯には、女子は二十四チームが参加、富士宮二中が五回目的優勝、男子は十二チームが参加、富士宮一中が二位となりました。高校生生の部では、八月に開催した会長杯に女子の部に富士地区県内から十六チームが参加し、富士宮西高が四位と善戦。社会人は、バレーボール祭観戦の部に十六チームが参加ブロックごとに熱戦を繰り広げました。今年度で五回目を迎えた小中学校バレーボール教室、県下でもあまり無い小学生中学生の交歓試合等今後も継続し、小学生、中学生、高校生、社会人へつないでいくバレーボールを目指し、技術面ばかりでなく心も育てる事を重点に置きながら、さらなる向上と普及のため、今後とも関係各位のご協力とご支援をよろしくお願いたします。

相撲連盟

富士宮市相撲連盟は、相撲競技発展・普及を図り、青少年の健全育成と人格陶冶並びに国民体位の向上を図ることを目的に積極的に活動しています。

昨年は、植松裕貴選手(富丘小五年)が、「静岡県小学生すもう大会」をはじめとする各大会で準優勝。七月に行われた第二十二回わんぱく相撲全国大会では、ベスト32に入る成績を収めました。

女子の部「静岡県新相撲選手権」では、中学生の部で富士宮第一中学三年の小牧夏樹選手が優勝、渡邊貴子選手(同中学一年)が準優勝、静岡県の新相撲、中学生の部の、横綱・大関を獲得しました。

静岡県の青年横綱の望月健太選手は、九月に岐阜で行われた、東海相撲選手権・青年の部で安定した取り口で個人初優勝を飾りました。

スケート協会

トリノ冬季五輪の金メダリスト、荒川アトム以降、日本の各アイススケート場では利用者が急増、県内唯一の県営アイススケートリンクがある富士宮市根原の朝霧野外活動センターにおいても各種利用団体や朝霧センターが主催するスケート教室等に参加希望者が多く、一度の利用者数一〇〇名までと小さいリンク(二〇m×三〇m)ながら、平成八年度より現在まで一〇万

県民スポーツ祭では、団体選手三人(小山・渡藤・藤原)を要とする富士宮チームが、昨年に続き一般の部団体優勝を果たしました。

子どもから一般まで幅広く活躍した一年でした。連盟としても毎週月曜日・木曜日に富士宮北高相撲場において、「相撲教室」を主催しており、現在、近隣の小中学生約二十八名が参加する中、日夜、相撲道を通じ、青少年の健全育成に励んでおります。

本年度も、多くの大会に参加を予定しており選手の活躍が見込まれます。今後も更なる向上を目指し、相撲連盟・関係機関が一丸となって相撲道の発展に努力・精進していく所存です。



本年度スケート協会参加事業として、十二月二十九日、富士急ハイランドセイコーオーバルリンクでの県民スポーツ祭では成年男子、上位入賞の活躍で、ここ数年第一位の成績を収めている。

平成十八年度県スケート連盟普及部会での事業参加として、指導者研修会、朝霧野外活動センター支援活動(各種団体のスケート指導)等普及部会の指導者と共に富士宮市のスケート指導者が合同で十月下旬より二月まで指導を実施しています。

人の方が利用している。富士宮市スケート協会が主管している本年度スケート教室においても、前期(十一月・十二月)、後期(一月・三月)の受講者数九十八名と多かった。

朝霧野外活動センターは平成十九年四月一日から指定管理者に選定された、日本キャンプ協会が管理運営に当たる。センターは当面現行の運営形態を継続する。



バドミントン協会

富士宮市バドミントン協会は、協会主催の大会六回と、市民スポーツ教室三十回、ジュニア強化小学生・中学生を実施しています。また協会の支援している障害者バドミントンにも指導者を派遣しています。ジュニア強化の中学生は、根南中(中野・惟村組)男子ダブルス優勝、一中(望月有)女子シングル優勝、四中(稲葉・後藤組)ダブルス優勝、その他ベスト4に四人入賞と静岡県中学校選手権の上位を占めました。スポーツ教室には毎回昼と夜に二〇〇名以上が参加しています。受講者には海外から富士宮市に技術研修にみえしている人も参加してい

ます。平成一八年度、当協会が主管した「ねんりんビック静岡2006」第五回ふれあいバドミントン大会を、十月二十八日・二十九日に実施しました。全国から二十六チーム一八〇名の元気なベテランが市民体育館で熱戦を繰り広げました。入場行進の先導役は、孫世代の地元少年団二十六名と、式場案内をジュニア強化選手が担当し大変好評でした。富士宮市からも三名出場し、四位と健闘しました。今回「第四回スペシャルオリンピック」(第四回スベシャルオリンピック)に協会の教室から男女二名のアスリートと指導者二名が参加しました。この大

会は平成十九年上海で行われる世界大会の予選を兼ねているため規模や内容とも素晴らしい大会でした。二名のアスリートは予選・本戦と頑張り準優勝しました。特に女性アスリートの活躍が新聞記者の目に留まり熊本日日新聞に掲載されました。全国的に知的障害者のスポーツには体育協会の関わりが、まだ少ないようです。当協会は、これからも心のバリアフリーを取り扱う役目を推進していきま



家庭婦人バレーボール連盟

平成十九年度、一部家庭婦人二十四チーム、二部軽量四号球二十六チーム、計五十チーム登録。四月一日総会に於いて、次の事業計画を承認。

- 4月29日(日) 第32回静岡朝日新聞社杯
- 5月27日(日) 第29回連盟会長杯(春)
- 6月17日(日) 第13回静岡新聞社杯
- 8月26日(日) 第28回市民スポーツ祭
- 9月23日(日) 富士宮・芝川シニア交歓会
- 10月21日(日) 第29回連盟会長杯(秋)
- 11月18日(日)

・第20回富士宮市長杯
平成20年2月17日(日)
・第6回高山杯
その他に年二回の審判研修会(実技)並びに記録の研修会を実施し、公認審判員の審判技術の向上、これから公認審判員取得する方の指導。また広報を年一回発行。

二十代から六十代と幅広い年齢層で楽しく、そして健康増進地域間の交流を目指して活動しております。また、六十歳以上の方は、学区に関係なく登録制度により、その都度チーム編成し、大会に参加申込みできることにより、今後、ひとりでも多くの方々に、生涯スポーツとし

て仲間作りをしていただきたいと思っております。

第六十回市民スポーツ祭
バレーボール競技大会
家庭婦人の部
第三位 リズム
優勝 KOIZUMI5
最後の大会に頑張ってください。



体操協会

小・中・高等学校において器械体操は廃部、そんな現実にもめげず、三世代交流体操教室、市民スポーツ祭、と体操王国日本の歴史を肌で感じているコーチ陣、そして父兄。その人たちに支えられながら、その人口は着々と数を増し、現在は、父兄、子供たち総勢八十名を越える登録があり、毎週金曜日、体育館Aコートは子供たちの声でいっぱいです。

世代交流体操教室を卒業し、高校生になっても教室に通ってくる生徒を見ておくと、輝かしい目を見せられて、私達コーチ陣を喜ばせ、励ましてくれておられます。

体操は、小学生の頃から地道な反復練習の積み重ねですが、一つ一つの競技には必ず高価な器具が必要となり、セツとするのにも、一人の力ではどうにもなりません。そんなところになかなか普及出来ない要素があるのです。

しかしながら、富士宮市の体育館には、高価な器具、安全性の高い用具が有り、楽しく活用させて頂いております。

これからも無理せず、子供たちに体操の楽しさ、怪我を未然に防ぐ運動神経の向上を目指し、子供たちと楽しんでゆきたいと考えております。

ゲートボール協会

富士宮ゲートボール協会は、昭和六十一年に発足、高齢者にとり、適当の運動も出来るし頭を使うスポーツ。ボケ防止にもなると思われている。平成十八年度はねんりんビックにも参加多くの人々との交流と親睦をはかった。

二〇〇七年四月二十四日、総会では年間行事を発表。五月十六日、富士宮G.B.協会定例会をはじめ、六月・十月の二回の年会受給者G.B.大会。暑い夏には、芝川・富士宮の女子だけの大会、富士山ふもと親善G.B.大会(七月・十月)。十月、八十歳以上の人々の寿大会。

十一月六日のスポーツ祭G

ゴルフ連盟

B競技大会は、富士宮の市民ならば誰でも参加出来る。但し地区対抗となるため区長の印が必要。

十二月になると審判資格者のみの大会、他に一市一町・二市一町の大会も行っている。

十九年度、新に月一回の西部大会、七月には後援者のよる大会も計画されている。

年々ゲートボール人口が減少し、さびしく残念なことであるがG.B.協会では若い世代、小学生にも目を向け、ふれあう場を多くして、世代交流を楽しみ、ゲートボールをしたい。

平成十八年度におきましては、八月の区対抗ゴルフ市民スポーツ祭と、十月の秋季市民ゴルフ大会が連盟における二大イベントとして開催されました。

区対抗ゴルフ市民スポーツ祭におきましては、二日目が雨天により延期となるハズニングにもみまわれましたが、三九〇名以上の方のご参加を頂きました。「体を動かす心地よさを味わえた」「地区との交流を図ることが出来た」等の声を昨年以上に聞くことができ、嬉しく、又運営関係者にとりまして、次回開催へ向けた原動力とさせて頂いております。本年度は八月六日、八日にかけて、四五〇名程の

御参加を予定し、各地区に呼びかけております。何卒御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

秋季市民ゴルフ大会におきましても、昨年は一五〇名以上の御参加を頂き、互いに技を磨き合い、競技を楽しむ様子が伺え、充実した大会となりました。本年度は一八〇名の御参加を予定し、区対抗ゴルフ市民スポーツ祭同様、熱気ある大会にすべく、計画しております。

平成十九年度の事業計画を年頭に、ゴルフというスポーツを通じて健康維持促進・地域交流のお役に立てればと考えております。

武術太極拳連盟

太極拳は、数ある中国武術三千年の歴史が基礎となって生まれた武術です。

一九五六年、中国国家が、全人民の体位の向上をはかるため、全国の武術家の総力をあげて、最もポピュラーなものとして、創作されたのが簡化太極拳であります。以来、簡化太極拳は、大衆スポーツとして支持をされ普及していきましました。スポーツは、速さと力の競技が多い中、太極拳は最も動きの遅い、基本演技の正確度を競うスポーツです。

このため、中高年の方には最適なスポーツです。優雅で、柔和な動きと呼吸法は、内臓の働きを活発にし、足腰の強化、柔軟性、バランス感覚、精神的調和の向上が認められます。このため健康法として有効であることは、医学的にも実証されています。太極拳は、性別・年齢を問わず、いつからでも学ぶことができます。素晴らしい生涯スポーツです。

富士宮総合太極拳協会は、七支部があり、週一回、年間約六十回の練習を各地区で行っております。

グラウンド・ゴルフ協会

本年四月、NPO法人富士宮市体育協会に二十七番目の競技団体として入会いたしました。

入会に至る経緯は一昨年の七月、富士宮市グラウンド・ゴルフ協会(以下G・G協会)設立準備委員会を設け、設立の準備を進めて参りました。

昨年十一月十五日に富士宮市グラウンド・ゴルフ協会設立総会を開催して、その第一歩を踏み出すとともに本年一月に体育協会に入会届を提出いたしました。

G・G協会設立記念大会を三月二十二日(火)に外神スポーツ広場で開催いたしました。

大会は一区二チーム以内八十チームに限定して、四十七区から出場者四七〇人と四十八人のボランティアの協力を得て無事に

終了することが出来ました。

ここに至るまでの間、富士宮市スポーツ振興課、富士宮市体育協会、富士宮市体育指導員協会、富士宮市市民会等のご指導ご支援、育成のためのバックアップをいただきましたことに紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

十九年度総会を五月二十二日(火)に開催いたしました。加盟団体は二十一区、二団体の二十三チーム、五九四名の会員で新年度の事業計画等が可決承認されスタートしました。

・グラウンド・ゴルフの啓蒙及び会員拡大にかかわる事業
・第二十八回市民スポーツ祭、区対抗グラウンド・ゴルフ大会の開催 九月二十日、市民グラウンド・ゴルフ選手権



ります。秋には、市民体育館武道場で、各支部が参加して演舞会を行っております。

皆様も一先、太極拳を見学に来て下さい。



大会の開催 二十年三月
・G・G協会の大会開催及び練習会・交流会の実施
等を柱に、誰でも、どこでも、世代を超えてすぐに行えるグラウンド・ゴルフをとうして、健康

の維持、親睦と融和を深め、誰からも親しまれる協会をめざしてまいりますので今後ともご指導、ご支援をよろしくお願いたします。

インディアカ協会

インディアカ協会設立四年目の今年度より、体育協会に加盟させていただきましました。富士宮市に、軽スポーツ普及の為体育指導委員協議会の主催で、インディアカ教室が開かれてから十年目の今年から教室が、体育から協会に移行されました。

一年に三回、市主催のインディアカ教室の講師として協会がインディアカ教室を運営致します。定員は八十名、毎週一杯になりまます。又、十八年度より市民スポーツ祭に参加して、一般の部の大会も開催致しました。誰でも出来る軽スポーツとして、各地域にもっと知ってもらい、区対抗の部も開催出来るように、普及させていきたいと頑張っております。

NPO法人平成十九年度事業等

NPO法人として二年目を迎えた本年三月二十一日に協会加盟社員出席のもとに総会が開催され、平成十九年度事業計画及び予算等が審議され承認されました。

又四月二十五日には、平成十九年度総会が行われ、平成十八年度事業報告及び決算が審議され承認されました。役員改選では左記の方々が平成十九年度、二十年度役員として選出されました。

平成十九年度・二十年度役員

役職名	氏名
会長	松浦 眞
副会長	中野 好幸
理事長	石川 俊秋
副理事長	西島 謙悟
理事	野村 榮樹
理事	平野 修治
理事	伏見 由正
理事	久保田 正幸
理事	茂 恵子
理事	芦 沢 昭喜
監事	浅 倉 貞

富士宮市体育協会 平成十九年表彰式 並びに新年を祝う会



富士宮市体育協会表彰規定に基づく、平成十九年表彰式並びに新年を祝う会が一月二十七日、花の湯黒櫛の間で行われました。

功労賞は、吉野基氏(ソフトボール協会前会長)、日原貞二氏(体育協会前副会長、弓道連盟前会長)、七澤宏光氏(体育協会前副会長、バドミントン協会前副会長)、石川好広氏(ソフトテニス協会前会長)の四氏が受賞しました。

又優秀チームとして、全国高等学校総合体育大会登山競技団体女子の部で優勝した富士宮西高チームに優秀チーム表彰が贈られました。

優秀選手として、第二十回全国都道府県対抗女子駅伝に静岡県チームのメンバーとして出場し、中学生区間(八区)で区間賞をとった富士宮第四中学校の佐野知美選手に優秀選手賞を授与しました。

新年を祝う会には、加盟団体の代表、地元選出国会議員や県議会議員、市長、市議会議長ら来客など、一五〇名が出席し、なごやかな時間を過ごし、新しい年を祝い本年の活躍を誓いました。

最終の第60回静岡県民スポーツ祭で表彰される



平成十九年度からは、より多くの県民が参加し易いように東、中、西三地区において開催され、生涯スポーツ振興を図る普及、奨励事業として、第一回しずおかスポーツフェスティバル東部大会として開催されることとなりました。当市では、十月二十一日(日)にバドミントン競技が行われます。

第二次世界大戦が終了した翌年の昭和二十二年

に、静岡県では県体協とともに、荒廃した社会をスポーツによって再建することを目的に「静岡県スポーツ祭」を開催しました。

その後、当大会は、県下各競技の中心的役割として、高水準の大会として多くのアスリートが育成すると共に、競技団体の充実と競技力の向上に尽くしてきました。昭和三十二年には、第十二回国民体育大会が本県で開催され、全国に「オレ

ンジ旋風」を巻きおこしました。

その後、県民スポーツ祭と名称を変更し、市町村対抗形式を取り入れ全県の展開をしてみられました。

平成十八年度は県民スポーツ祭の最後の年として開催され、当市は二十二年(三五七七名)が参加し、市対抗の部で七位(八位まで入賞)、人口に比した参加率では、牧之原市、菊川市に次いで第三位となり表彰を受けました。

第26回 全国高等学校男子 ソフトボール選抜大会

開会式 平成20年3月20日(木)
競技開催 平成20年3月21日(金)~24日(月)
会場 山宮スポーツ公園・外神スポーツ広場
この大会は、ソフトボール競技の甲子園版です。
みなさん、球場へ見に来てね!